

スミロンよりおむつ処理機を特養美浜・特養川辺園に寄贈

2010年1月27日



写真:春山社長㊧が増田事務局長に目録を贈呈

スミロンは自動車や電子機器の表面保護フィルムや除塵粘着シートなどを製造する企業で、平成10年、日高川町三百瀬に和歌山工場を新設。約4年前には同工場を増設した。今回、新たな介護関連製品として、大人用の使用済みおむつ処理パック機「エコム・シュウ」を開発。長年のフィルム製造等で蓄積した薄膜多層コーティング技術を生かし、大腸菌や黄色ブドウ球菌などの細菌を閉じ込める特殊素材のフィルムで、おむつを1・5秒でパック処理するシステムで特許を取得された。

おむつからの2次感染防止対策は医療機関や介護老人福祉施設では大きな課題となつており、微細なインフルエンザウイルスやノロウイルスさえも通さないフィルムにより、現場の人たちを悩ませていた、においも完全に閉じ込めることができるという。

特別養護老人ホームときわ寮と、特別養護老人ホームときわ寮川辺園におむつ処理機を置きました。

贈呈式にはスミロンの春山社長、中西クリーンケア製品部長から当組合の増田事務局長とときわ寮の竿本施設長、ときわ寮川辺園の西川施設長が受け取りました。

春山社長は「すでにこの処理機を導入されている病院からは非常に好評をいただいています。介護施設はこれからですが、まずは私たちがお世話になっている地元への感謝を込めて、日高地方の施設で使ってもらいたいと思い、寄贈させていただきました」と話されました。

自動車用保護フィルム等の大手メーカー、(株)スミロン(本社・大阪市)が独自の先端技術を生かした大人用おむつ処理機を開発され、御坊日高老人福祉施設事務組合に2台を寄贈して頂きました。

平成22年1月27日午後、当組合の事務局で贈呈式が行われ、春山社長は「特養施設では、おむつの臭気や感染対策が課題があり、おむつ処理パック機が少しでも現場の環境改善に役立てばうれしい」と話されました。